



あけましておめでとうございます！本年もよろしくお願いいたします。
 お正月といえば、やはり「お年玉」。年明けの指導では、子ども達の話題によくなっています。お年玉という言葉は「年魂（としだま）」が語源だといわれています。年魂とは「年神様（としがみさま）の魂」という意味で、年神様はお正月になると里へ下りてきて、みなさんの家に1年の実りや幸せをもたらしてくれるそうです。もともとはお金ではなく、鏡餅をお下がりとして子どもに与えていたとか。子ども達と文化の意味や由来を調べる活動も「ことばの教室」らしくてよいかもしれないなと考えた冬休みでした。

「ことばあそび」

ことばの教室では、よく「ことばあそび」をします。遊びを通して、コミュニケーションを取ることをねらっていますが、ことばのおもしろさを感じて「ことば」に興味関心を持つことや、正しい発音を知っていくこともできるからです。

一言に「ことばあそび」と言いますが、たくさん遊び方があります。3歳児のころには「語彙の幅を広げてあげられるような遊び」、4歳児のころには「イメージする力を育てる遊び」、5歳児のころには「イメージする力に加え、ことばや文字を使った遊び」をおすすめします。

- * ことば集めゲーム・・・『カ』がつくことばは？
- * しりとり・・・文字数やカテゴリーを決めるとむずかしい！
- * 連想ゲーム・・・『白いもの』ってなんだ？
- * ことばつくり・・・文字カードを使って、たくさんことばを見つけよう。
- * 逆さことばあそび・・・回文を見つけたり、作ったり。
- * アナグラム・・・文字をならべかえて、正しいことばにしよう。
- * マジカルバナナ・・・「～といえば？」をつなげていこう。
- * 早口ことば・・・うまく言えるとうれしい！
- * 答えを合わせよう・・・「～といえば？」の答えが、そろうと楽しい！
- * ぱぴぷぺぽ星人・・・「ぱぴぷぺぽ」しか使えないけど質問に答えよう。
- * なんて言ってる？・・・「あいうえお」の母音だけで話してみたり、なんて言っているか当てたりしよう。



☆母音だけで話すことは、構音の調整につながります。また、劇の台詞や歌の歌詞を母音で練習すると、うまく言えたり、歌えたりするそうです。プロの方も口の動きの基本を大切にされているそうです。

今年も
「ことばの教室」
「ことばあそび」に
挑戦してくださいね。
語彙が増えると、
世界が広がります！

元旦
新川和江

どこかで山がむっくり
あたらしい川がひとすじ
起きたあつたような...

どこかで窓がひらかれ
あたらしい鳥が
千羽の鳩が
放されたような...

どこかで愛が
わたらしめか
歩きはじめたような...

あたらしい歌が
うたわれようから
世界のくちびるから
「あ」とか
洩れかかったような...

